



新聞の比較を通して情報を読み解く力について学んだ授業。15日、あわら市の金津高

# 読み比べ 多角的に考察

教育に新聞を活用するNIE実践指定校の金津高で15日、「Go To トラベル」など身近で関心の高いニュース記事を読み比べ、多面的・多角的な視点を養う授業が開かれた。福井新聞社の徳島泰彦NIEコーディネーターが、情報を批判的に読み解き自分の意見を持つために、新聞を有効に使う手法などを説明

## 金津高で出前授業

### 1年生 手法学ぶ

社会的課題を探究する今後の学習に生かそうと、1年生約200人が授業を受けた。徳島コーディネーターは、社会の流れを知り、自分ならどう考え動くか判断を積み重ねることで「自分の中の常識が培われ、意見が持てる」と説明。育成の手法の一つとして、新聞の読み比べが有効とした。

授業では同じ日の全国紙3紙と福井新聞の見出しを読み比べた。「記事の要約である見出しを読むだけで、各社の絶対に伝えたい内容や視点などが読み取れる」とし、複数の新聞から



多面的・多角的に情報を得て分析する大切さを説いた。さらに、ネット中傷や少年の実名報道など、生徒にとっても関心の高い社会問題を伝える記事を紹介。生徒はペアになって自分の意見を交換し合った。授業を受けた浅川一桂さんは「インスタグラムなどのSNSをよく利用するが、事実と異なる情報が流れてくることもある。事実を見極められるようになりたい」と話していた。(大西崇弘)